

迫桜通信

夢 はばたけ未来へ!

第25回迫桜祭

BeReal 青春をシェアしよう



みやぎけんはくおうこうとうがっこう

宮城県迫桜高等学校

住所〒 989 - 5502

宮城県栗原市若柳

字川南戸ノ西184

電話 0228 - 35 - 1818

HP <http://www.hakuou.myswan.ne.jp/>Email hakuou@od.myswan.ed.jp

担当

図書・情報管理部

迫桜通信編集係

目次

- 第25回迫桜祭
- 芸術鑑賞会
- 避難訓練
- 総合学科東北大会
- 12月の行事予定



今年度の迫桜祭は、十月二十四日(金)に校内発表、二十五日(土)に一般公開が行われました。

校内発表では、ステージ発表が行われました。各クラスが工夫を凝らし、動画や劇の他、ハロウィンも近いということで仮装をしてお菓子を配布するといったパフォーマンスを見せてくれました。先生方の特別参加もあり、会場は大いに盛り上がりしました。また、文化部、各種委員会、各系列もステージ発表や展示等を行い、日頃の活動の成果を披露していました。

一般公開では、三年生による模擬店やアグリ系列の農産物販売に長い行列ができました。各クラスの企画も盛況で、二日間で昨年を超える九百人以上の方々足を運んでいただきました。

後夜祭も、有志によるダンスや恒例の腕相撲大会で盛り上がりしました。ステージの生徒も観客の生徒も、皆授業ではなかなか見られないような明るく生き生きとした表情を見せていました。フィナーレには、PTA主催で二年振りの花火が打ち上げられ、祭りに華を添えました。



芸術鑑賞会



十月三十日(木)、若柳総合文化センター(ドリーム・パル)にて、芸術鑑賞会を行いました。

今年はヒダノ修一スーパー太鼓センセーション 2025」を鑑賞しました。太鼓とタップダンスのコラボレーションの迫力あるステージで、生徒は手拍子や掛け声と一緒に体を動かし楽しんでいました。

演奏の中で、一年次から三年次まで男女数人がステージに上がり、一緒に演奏する機会がありました。初めは恥ずかしがっていた生徒たちも、演者たちに促され、だんだん積極的に演奏に参加して行く姿が印象的でした。また、先生方もサプライズで指名を受け、大竹校長先生をはじめ、各年次の先生方がステージに上がり、会場は大盛り上がりでした。

最後に生徒を代表して、図書委員長の佐藤蓮斗さんが先日迫桜祭があり、自分たちもステージに立つ機会がありました。今日のステージを見てやはりプロはすごいと圧倒されました。今日は本当にありがとうございました。と感謝の気持ちを伝えました。



避難訓練



十一月五日(水)、防火避難訓練を行いました。

火災が発生しやすい時期を迎え、火災発生の防止及び人命の安全と財産の損失を防ぐとともに、万一の火災に備えて規律ある行動で安全に避難することを目的として行いました。生徒達は、おは・しも(押さない・走らない・喋らない・戻らない)を意識して真剣に避難訓練に取り組んでいました。

避難した後、栗原消防署東分署消防士の方から、実際に消火器の使い方をレクチャーしていただきました。消火器は十五秒間の噴射時間と五メートルの噴射距離があると教わると、生徒たちは興味深そうに聞いていました。その後生徒たちは積極的に消火訓練に参加し、大きな声で「火事だ！と叫んだ後、素早く水を噴射していました。



12月の予定

- 1日(月) 生活アンケート
- 2日(火)～5日(金) 後期中間考査
- 8日(月) 3年次ワックス塗布
- 9日(火) 小論文模試(3年次)
- 10日(水) 後期生徒総会
- 15日(月) 2年次ワックス塗布
- 24日(水) 全校集会・大掃除
- 創立25周年記念講演会
- 25日(木) 冬季休業(～1/7)
- 冬期課外・D3 学習会(～26日)

総合学科東北大会

十月九日～十日、本校を会場に「東北地区高等学校総合学科教育研究大会」が開催されました。開会行事のアトラクションでは、合唱部と音楽Ⅱ選択者が、来場した先生方の前で本校の校歌を披露しました。

公開授業では、一年次の生徒がアリーナで「産業社会と人間」のキャリアアップ発表会を行いました。

二・三年次はそれぞれの系列ごとに授業があり、生徒は少し緊張した面持ちで授業を受けていました。

